

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **全国平均を 2.1%上回る！ 2024 年の「小巨人」企業の売上高が大幅増**：国家税務総局がまとめた最新のデータによると、2024 年は「専精特新（専門化・精密化・特徴化・新規性）」を特徴とした「小巨人」企業（高い成長性または大きい発展のポテンシャルを持つテクノロジーイノベーション中小企業）が引き続き好調な発展ぶりを見せ、多くの分野で売上高が大幅増となった。データによれば、24 年の「小巨人」企業の売上高成長率は全国平均を 2.1 ポイント上回った。そのうち製造業の小巨人企業の売上高成長率が 3.2%となり、デジタル経済産業では 9.4%、ハイテク産業では 9.6%だった。調達の状況を見ると、24 年に「小巨人」企業が調達した研究開発・技術サービスは同 7.8%増となり、安定した急成長を示している。(3/4 人民網)
- **中国、2月の中小企業発展指数の各項目指数が軒並み上昇**：中国中小企業協会が 12 日に発表したデータによると、2月、中小企業発展指数（SMEDI）は 89.8 で、1月と比べて 0.8 ポイント上昇した。そのうちサブ指数、業種別指数、地域別指数は軒並み上昇した。サブ指数を見ると、2 月にはマクロ経済指数と、総合経営指数、市場指数、コスト指数、労働力指数、投入指数がそれぞれ継続的に上昇した。マクロ経済指数は前月比 0.5 ポイント上昇、総合経営指数は同 1.1 ポイント上昇、市場指数は同 0.8 ポイント上昇、コスト指数は同 0.2 ポイント上昇、労働力指数は同 0.6 ポイント上昇、投入指数は同 0.4 ポイント上昇だった。資金指数と利益指数は、前月と比べて低下から上昇に転じ、それぞれ 1.0 ポイントと 1.3 ポイント上昇した。ここから**中小企業の景気水準は回復基調を維持**していることが分かる。業種別指数も軒並み上昇した。2月、工業が前月比 0.7 ポイント上昇、交通・運輸業が同 0.5 ポイント上昇、不動産業が同 0.4 ポイント上昇、卸売・小売業が同 1.1 ポイント上昇、社会サービス業が同 0.5 ポイント上昇、情報伝達・ソフトウェア業が同 0.8 ポイント上昇だった。建設業と宿泊・飲食業指数は低下から上昇に転じ、前月比でそれぞれ 0.8 ポイント上昇と 1.0 ポイント上昇だった。ここから**業界の運営は安定し、好転**していることが分かる。(3/13 人民網)
- **中国の 22 の自由貿易試験区、昨年の実行ベース外資導入額は 282 億 5,000 万ドル**：中国商務部（商務省）の何詠前報道官は 13 日の定例記者会見で、2024 年、中国の 22 の自由貿易試験区における実行ベース外資導入額は 282 億 5,000 万ドル（1 ドルは約 148.3 円）に達し、全国の 24.3%を占めたことを明らかにした。何報道官によると、この比率は 2023 年よりさらに上昇しており、外資誘致において著しい牽引的役割をもたらしているという。何報道官は「中国は近年、自由貿易試験区において一連の先導的かつ画期的な改革・開放措置を他に先駆けて導入し、外資系企業の中国における発展を力強く支えてきた」と指摘。「次の段階として、自由貿易試験区の先行・試行の役割をより良く発揮し、関連分野における開放試行プロジェクトの実施を積極的に推進し、より広範な分野において、より深いレベルの、より力強い制度型開放試験を実施し、外資系企業を含む各種事業者さらなる成長の機会を提供していく」とした。(3/14 人民網)
- **中国 1-2 月の外資導入額、1,712 億 1,000 万元に**：商務部（省）がまとめたデータによると、2025 年 1-2 月には、全国で新たに設立された外資系企業は前年同期比 5.8%増の 7,574 社に達した。実行ベ-

ス外資導入額は同 20.4%減の 1,712 億 1,000 万元（1 元は約 20.7 円）だった。産業別に見ると、製造業の外資導入額が 478 億 2,000 万元、サービス業は 1,204 億 9,000 万元。ハイテク製造業は 524 億 9,000 万元で、そのうち EC サービス業の外資導入額は同 33.5%増、バイオ医薬品製造業は同 22.9%増、スマート消費デバイス製造業は同 40.7%増だった。投資元国・地域を見ると、英国からの投資が同 87.9%増、ドイツが同 54.7%増、韓国が同 45.2%増となっている（自由貿易港経由の投資データを含む）。（3/18 人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- **中国 2 月の PPI、下落幅がやや縮小**：国家統計局が 9 日に発表したデータによると、2 月の全国工業生産者出荷価格指数（PPI）は前月比で 0.1%下落し、前年同月比では 2.2%下落した。いずれも下落幅は前月比 0.1 ポイント縮小した。国家統計局都市司の董莉娟・首席統計官は「工業生産の閑散期や一部の国際大口商品価格の変動などが PPI の下落要因となったが、下落幅はやや縮小した」とした。（3/10 人民網）
- **2 月の自動車生産・販売は 3 割超増の安定成長 新エネ車急増傾向が続く**：中国自動車工業協会が 11 日に発表したデータによると、今年 1-2 月の中国の新エネルギー車生産・販売・輸出はいずれも前年同期比で 50%以上増加した。1-2 月、自動車の生産台数は前年同期比 16.2%増の 455 万 3,000 台、販売台数は同 13.1%増の 455 万 2,000 台に達した。そのうち新エネ車は生産台数が同 52%増の 190 万 3,000 台、販売台数が同じく同 52%増の 183 万 5,000 台。新エネ車の新車販売台数は自動車新車総販売台数の 40.3%を占めた。輸出では、新エネ車の輸出台数は同 54.5%増の 28 万 2,000 台。同協会の関係者は「今年 2 月の春節（旧正月、2025 年は 1 月 29 日）以降、企業の生産・経営活動が加速し、新製品の発表や販促キャンペーンが競って繰り広げられたことで、市場の活力が大幅に向上した。1-2 月には、新たな買い替え促進策が拡充され、早期に実施されたことに加え、企業の技術革新や製品モデルチェンジが需要を刺激し、自動車の生産・販売は全体として安定成長した。特に新エネ車は顕著な成長を遂げ、引き続き生産・販売の急増傾向が続いている」と述べた。（3/12 人民網）
- **中国 2 月の社会全体の電力消費量が前年同期比で 8.6%増**：今年 2 月には、中国社会全体の電力消費量が前年同期比 8.6%増の 7,434 億キロワット時（kWh）に達したことが、国家エネルギー局への取材で分かった。産業別に見ると、第一次産業の電力消費量は同 10.2%増の 98 億 kWh、第二次産業は同 12.4%増の 4,624 億 kWh、第三次産業は同 9.7%増の 1,420 億 kWh。都市部・農村部の一般家庭の電力消費量は 1,292 億 kWh。1-2 月の社会全体の電力消費量は累計で同 1.3%増の 1 兆 5,564 億 kWh。中国電力企業連合会の関係責任者の説明によると、1-2 月の電力消費の成長率が低めだったのは、1 月に全国の平均気温が高めだったことの影響により、全国都市部・農村部の一般家庭の電力消費量が同 0.1%増にとどまったことが原因の一部だという。一方、一部の産業は電力消費量が急増傾向を保った。同期には、全国の情報伝達・ソフトウェア・情報技術（IT）サービス業の電力消費量が 1 日当たり（以下同）同 13.5%増となった。中でも人工知能（AI）、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、5G などの急速な発展に牽引される形で、全国のインターネット・関連サービス業の電力消費量が同 25.2%増となった。同期の全国卸売・小売業の電力消費量は同 9.0%増となった。中でも電気自動車（EV）の急速な発展に牽引される形で、全国のバッテリー充電・交換サービス業の電力消費量が同 40.1%増となった。（3/19 人民日報、人民網）

【トピックス】

- 1、2024年における中国の医療機器市場が1.35兆元規模に：**3月13-16日開催された「2025中国医療機器カンファレンス」において、2024年における中国の医療機器市場の規模が前年比約6%増の1兆3,500億元(1元は約20.5円)に達したことが明らかにされ、中国医療機器協会がまとめた「中国医療機器発展指数」によると、2024年における業界の発展指数は、前年比で3.3%上昇し、2019年比で55.3%上昇の155.3に達したと初発表された。中国ではすでに、22ジャンル、1,100種類以上の医療機器製品体系が構築されており、世界において、ジャンルと種類が最も充実した国の一つとなっている。またその製品は、臨床に幅広く応用されており、衛生・健康の各分野をカバーしている。(3/17 人民網)
- 2、河北省初の長航続時間・大型輸送ドローン、初飛行に成功：**翼幅9メートル、高さ1.45メートル、自重155キログラムの大型輸送ドローン「宝雲号」が18日、河北省の衡水桃城空港の上空を飛行した。「宝雲号」は衡水桃城空港が完全に独自に開発したもので、80馬力の4ストロークガソリンエンジンを採用。最長航続時間は26時間、有効積載量は200キログラム。大積載量、長航続時間、多用途、高い安全性と信頼性などの特徴を持つ。中国の自動輸送、緊急救助、洪水対策・災害救助、消防・森林防災などの分野で幅広く使用されている。(3/19 中国新聞網、人民網)
- 3、中国の商業宇宙飛行、再使用可能なロケットエンジンの試運転に成功：**中国航天科技集団の商業ロケット有限公司が開発を主導する再使用可能なキャリアロケットが、今月15日に第2段エンジンの試運転を完了し、試験は無事成功したことが18日、中国航天科技集団第六研究院(以下は「航天科技六院」)への取材で分かった。これは中国の商業宇宙飛行分野における再使用可能なキャリアロケットエンジン技術において新たなブレイクスルーを達成したことを示している。第2段エンジンの試運転では、YF-102シリーズの真空版YF-102Vエンジンが使用された。試運転中、このエンジンは完璧な性能を発揮し、複数回の起動と点火、入力パラメータの大幅な変動および長時間の予冷却への適応能力を効果的に確認した。航天科技六院によると、このエンジンの開発には2年半かかった。陝西航天商業エンジン有限公司が開発を主導した。研究チームは「低コスト+高速イテレーション」の革新的なモデルを通じて技術的なブレイクスルーを加速させ、10数の技術的課題を克服した。現在、このエンジンは納品可能な段階に達しており、年内に初の商業飛行を実施する見込みだ。(3/19 中国新聞網、人民網)
- 4、中国初の炭素14原子力電池の開発に成功：**中国初の炭素14原子力電池のプロトタイプ「燭龍1号」がこのほど発表された。これは中国が原子力エネルギー技術および超小型原子力電池分野で重要なブレイクスルーを達成したことを示している。「燭龍1号」は、西北師範大学と無錫ベータ医薬科技有限公司の研究チームによって共同開発された。コア材料の開発からエネルギー変換デバイスの製造に至るまで、「燭龍1号」は完全に独自の知的財産権を有している。開発過程では、高比放射能炭素14源の製造や、エネルギー変換デバイスの変換効率および安定性の低さといった技術的課題を克服した。「燭龍1号」は、マイナス100℃から200℃の極端な温度環境に適応でき、ミリワット級のパルス放電やエネルギーのインテリジェント管理をサポートし、さまざまなシーンでの利用が可能だ。また、環境に優しい低炭素の特性により、新エネルギー産業チェーンの発展と高度化を推進することが期待されている。さらに、炭素14の半減期は5,730年と長いため、理論上、この原子力電池は数千年に及ぶ超長寿命を持つとされる。「燭龍1号」は産業化の幅広い可能性がある。医療分野では、ブレイン・マシン・インターフェースや心臓ペースメーカーなどの埋め込み型デバイスに永続的な電源を提供できる。また、IoT(モノのインターネット)分野では、数兆個規模のセンサーネットワークの電力を供給できる。さらに、深海や南極・北極などの極限環境では、メンテナンス不要の持続電源として機能する。宇宙深部探査の分野では、探査機の長期的な運用を支えるこ

とができる。(3/20 人民日報、人民網新華社)

【2025 年政府活動報告ダイジェスト】

第 14 期全国人民代表大会（全人代）第 3 回会議の開幕式が 5 日午前 9 時、北京の人民大会堂で行われ、李強総理が国务院を代表して政府活動報告を行った。そのポイントは以下の通り。(3/5 人民網)

(1) 2024 年の取り組みの成果

- ・国内総生産（GDP）成長率 5%
- ・食糧生産量が初めて 7 億トンという新たな大台に
- ・都市部新規雇用者数 1,256 万人
- ・新エネルギー車の年間生産台数が 1,300 万台突破

(2) 2025 年の主要目標

- ・GDP 成長率 5%前後
- ・都市部新規雇用者数 1,200 万人以上
- ・消費者物価指数上昇率約 2%
- ・食糧生産量約 7 億トン
- ・単位 GDP エネルギー消費量の削減率約 3%

(3) 2025 年の重点的取り組み（一部）

【新たな質の生産力】：商業宇宙開発や「低空経済」など新興産業の安全かつ健全な発展を推進。バイオマニュファクチャリング、量子テクノロジー、エンボディド AI、6G など未来産業を育成。製造業のデジタルトランスフォーメーションを加速。ICV・新エネルギー車、AI スマホ・PC、スマートロボットなど次世代スマート端末及びスマート製造装備を大きく発展。

【農村振興】：種苗業振興行動を深く実施。中央政府統括下で食糧生産販売地への省を跨ぐ利益補償を開始し、食糧生産量の多い県への支援を強化。農民の所得増加のためのチャンネルを拡大。

【医療】：「医薬品集中購入政策」（国または地方政府が医療機関を取りまとめ、共同購入の形で一定の調達量を確保し、製薬企業と価格交渉を行うことで、取引量を確保する代わりに価格を引き下げる政策）を十全化し、品質の評価・監視・管理を強化。住民医療保険と基本公衆衛生サービスの 1 人あたり財政補助基準額をそれぞれ 30 元、5 元引き上げる。

【社会保障】：都市・農村部住民向け基本養老金（年金）の最低基準額をさらに 20 元引き上げる。出産支援策を策定し、育児手当を支給。

【イベント】

【来場募集中】 FBC 深セン 2025 in ITES 工業展 2025 年 3 月 26-29 日 深セン国際会展中心

【出展募集中】 FBC 上海 2025 in NEPCON 電子展 2025 年 4 月 22-24 日 上海世博展覽館

*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室